

入 選

ペットの命

一年 宇田こなつ

あなたはペットを飼っているだろうか。ペットは大切な家族の一員であり、責任をもって育てなければいけない。

私の家では、空^{そら}という名前の犬を飼っている。きっかけは姉が「犬を飼いたい」と言い出したことだ。私も同意したが、お世話が大変ということで決断がつかないでいた。何度かペットショップ等に見に行く中で、一匹の犬と出会った。茶色の毛を持つオスのトイプードルだ。生後3か月程の子犬だった。その可愛さに、私たちの心はうばわれた。それから、幾度の話し合いの結果、私たちはその犬を迎え入れる、と決めたのだった。名付けたのは姉で、空のように大きく元気に育ってほしいという願いが込められている。

二〇一八年五月十二日、空が家にやってきた。慣れない環境に緊張している様子だった。しかし、数日が経つと、状況を理解し始めたのか、少しリラックスしているように見えた。それから、しつけや散歩など新しいことにも挑戦した。最初は上手くいかなかったが、めげずに練習を重ねた。そのため、成

功したときは本当に嬉しかった。空が元気に遊ぶ姿は、私たちを笑顔にさせてくれる。空のおかげで、楽しい日々を送れている。

しかし、犬を育てることは楽しいだけではない。私の家での、お世話に関する出費は、月平均一万六千五百円だった。フード代やペットシート代、医療費などによるものだ。また、散歩などの時間も要する。他にも、私の家では、一時期夜鳴きに悩まされていた。

これらのような要因により、「飼育放棄」が起こってしまう。「飼う前に考えよう」によると「動物が飼えなくなった主な理由」は、「ペット禁止住宅で見つかってしまった」「増えてしまった」「アレルギー症状がでた」「世話や散歩の時間、体力がない」「高齢となったペットの介護がづらい」「飼い主の病気、死亡」「近隣からの苦情」「引越越しする」だ。飼育放棄された動物は、期間内に引き取られなければ、殺処分されてしまう。

ペットを飼うことは、楽しいことも大変なこともある。そのため、飼う前に「ペットを最期まで見届けられるか」を考えてほしい。私たちは約2か月間迷っていたが、空と一緒にいられて幸せだと、心から思う。もし、ペットを飼っているなら、家族としての責任をもって最期まで一緒にいてほしい。

〈出典〉二枚目十七行目～三枚目四行目、公益財団法人日本動物愛護協会「飼う前に考えよう」
<https://jspea.or.jp/think.html> 閲覧日：二〇二四年八月十八日